

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和02年11月24日

計画の名称	八木駅自由通路線 安全で安心に暮らせるまちづくり												
計画の期間	平成31年度 ~ 令和02年度 (2年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	南丹市												
計画の目標	本都市施設は、JR八木駅東口駅前広場と八木駅西土地区画整理事業により整備予定である「西口駅前広場」のアクセス向上を図る自由道路である。JR八木駅周辺は公共施設が集中し、併せて商店街や住宅地が形成されており、策定中の立地適正化計画の居住誘導区域・都市機能誘導区域の対象エリアに含まれている。本自由道路を整備することで駅へのアクセス強化により利便性の向上を図り、定住促進及び地域振興の強化を目指す。												
全体事業費 (百万円)	合計 (A+B+C+D)	872	A	872	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標 (定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H32末)
1	自由通路を整備し、駅へのアクセス強化により駅の利用者も増加させる。 八木駅利用者数の増加	3000人	3000人	3200人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

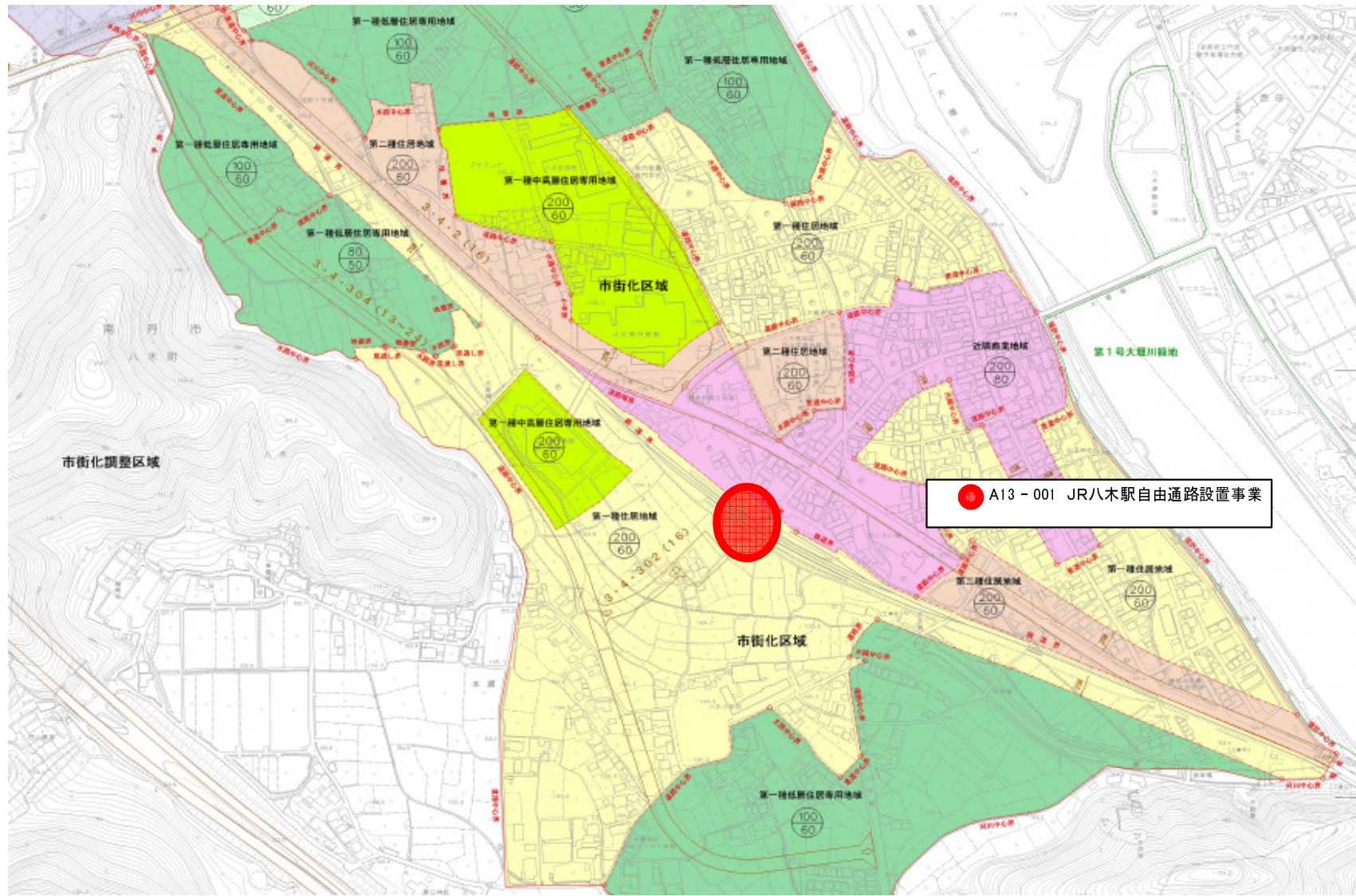
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H31	R02	R03	R04	R05					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
市街地整備事業	A13-001	都市交通	一般	南丹市	直接	南丹市	-	-	都市・地域交通戦略推進 事業（八木駅地区）	自由通路（L=73.56m W=3.0 m）	南丹市	■	■				872	1.10(1.1 1)	-		
												小計						872			
																	872				

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	132				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	132				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	36				
翌年度繰越額 (f)	96				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

計画の名称	八木駅自由通路線 安全で安心に暮らせるまちづくり		重点計画の該当
計画の期間	平成31年度 ~ 平成32年度 (2年間)	交付対象	南丹市



事前評価チェックシート

計画の名称： 八木駅自由通路線 安全で安心して暮らせるまちづくり

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
②定量的指標の明瞭性	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性	○
II. 計画の効果・効率性	
④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	○
III. 計画の実現可能性	
②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	○